

## 紀要論文

- (1) 藍 石, 田中俊弘: 日中両国における薬膳本草.  
[岐阜薬科大学紀要, 49, 1-10 (2000)]
- (2) 山内行玄, 葛谷昌之: プラズマ照射により生成する固体糖類のラジカル解析とその反応性に関する研究.  
[岐阜薬科大学紀要, 49, 11-22(2000)]
- (3) 山本浩充: ペプチドの経粘膜投与を目指した生分解性微粒子製剤の設計.  
[岐阜薬科大学紀要, 49, 23-32(2000)]
- (4) 松永俊之, 臼井茂之, 木方 正, 平野和行: マウス白血病細胞 P388D1 由来血管内皮細胞増殖抑制因子.  
[岐阜薬科大学紀要, 49, 33-44(2000)]
- (5) Akio Osada: The Characterization of Zeros of A Strongly Annular Function on Hyperbolic Riemann Surfaces.  
[岐阜薬科大学基礎教育系紀要, 12, 1-4 (2000)]
- (6) 坂恒夫: プリゴジンの複雑性.  
[岐阜薬科大学基礎教育系紀要, 12, 5-32 (2000)]
- (7) 澤岡 藩: 新たな関連を求めて —ハントケの「4部作」(4)—.  
[岐阜薬科大学基礎教育系紀要, 12, 33-44 (2000)]
- (8) Shoun Hino: Sureśvara's Vārtika on Bṛhadāraṇyakopaniṣad 4.4 [235-544].  
[岐阜薬科大学基礎教育系紀要, 12, 45-135 (2000)]

## 総 説

- (1) 佐治木弘尚: 窒素性塩基を利用した Pd/C 接触還元触媒への官能基選択性の付与.  
[薬学雑誌, 120, 1091-1103 (2000)]
- (2) 伊藤彰近: メソポーラスシリカを利用する有機合成反応に関する研究.  
[薬学雑誌, 120, 1105-1116 (2000)]
- (3) 葛谷昌之, 近藤伸一: プラズマの新しい医薬品工学への応用.  
[応用物理, 69, 401-405 (2000)]
- (4) 近藤伸一: 新規なメカノケミカル固相重合による高分子プロドラッグの設計と開発に関する研究.  
[薬学雑誌, 120, 1337-1346 (2000)]
- (5) 奥村典子: 有機 $\pi$ 電子系ダイアニオンの分子認識に基づく分子化合物生成に関する研究.  
[Rev. Polarogr., 46, 123-135 (2000)]
- (6) 川島嘉明: 機能性微粒子はどこまでインテリジェントにできるのか? .  
[粉体と工業, 32, 39-44 (2000)]
- (7) 川島嘉明: 粉粒体工学の製剤粒子設計への応用展開 —エアゾール吸入製剤を中心に—.  
[粉砕, 44, 20-26 (2000)]
- (8) 山本浩充, 竹内洋文, 川島嘉明: 高分子ナノスフェアを用いたペプチド経粘膜投与製剤の設計.  
[Drug Delivery System, 31, 415-420 (2000)]
- (9) Tomoaki Hino, Yoshiaki Kawashima and Saburo Shimabayashi: Basic study for stabilization of w/o/w emulsion and its application to transcatheter arterial embolization therapy.  
[Adv. Drug Delivery Revs, 45, 27-45 (2000)]

- (10) 木方正, 土屋照雄, 鵜飼茂夫: パラコート中毒の解毒: 硫酸塩及びスルホン酸塩化合物の効果.  
[法中毒, 18, 210-220 (2000)]
- (11) 出屋敷喜宏: 加齢と血液凝固.  
[血栓と循環, 8, 218-223 (2000)]
- (12) 永井博式: アレルギー疾患の動物モデル.  
[ファルマシア, 36, 211-215 (2000)]
- (13) 稲垣直樹, 永井博式: ドライパウダー製剤の薬理学.  
[アレルギーの臨床, 20, 17-21 (2000)]
- (14) 稲垣直樹, 永井博式: 抗アレルギー薬の評価.  
[アレルギー・免疫, 7, 62-69 (2000)]
- (15) 永井博式, 徳岡正大: 腫瘍壊死因子レセプターファミリー欠損マウスにおけるアレルギー性炎症 -CD40 および NGF レセプターp75 マウスについて-.  
[アレルギー科, 9, 245-254 (2000)]
- (16) 稲垣直樹, 永井博式: マウスのアレルギー性搔痒モデル.  
[アレルギー科, 9, 375-381 (2000)]
- (17) 田中宏幸, 増田大星, 永井博式: 気道リモデリングに関与する細胞と治療への展望.  
[アレルギー科, 9, 525-531 (2000)]
- (18) 古川昭栄, 古川美子: 神経成長因子 (Nerve Growth Factor).  
[関節外科, 19, 110-111 (2000)]
- (19) 新田淳美, 古川昭栄: 神経栄養因子.  
[ファルマメディカ, 18, 87-93 (2000)]
- (20) 古川昭栄, 古川美子: 神経栄養因子研究の最近の進歩.  
[神経研究進歩, 44, 339-349 (2000)]

## 著 書

- (1) Yoshiaki Kawashima, Hirofumi Takeuchi and Hiromitsu Yamamoto (分担執筆):  
[Handbook of Pharmaceutical Controlled Release Technology (Marcel Dekker), pp. 505-525 (2000)]
- (2) 川島嘉明 (分担執筆):  
[粉体工学用語辞典 (日刊工業) (2000)]
- (3) 竹内洋文 (分担執筆):  
[粉体工学用語辞典 (日刊工業) (2000)]
- (4) 川島嘉明 (分担執筆):  
[最新製剤学 (廣川書店), pp. 189-203, pp. 434-452 (2000)]
- (5) 竹内洋文 (分担執筆):  
[最新製剤学 (廣川書店), pp. 204-213, pp. 434-452 (2000)]
- (6) 竹内洋文 (分担執筆):  
[微粒子の付着・凝集メカニズムと実用系における評価, 制御 (技術情報協会), pp. 202-214 (2000)]
- (7) 山本浩充, 川島嘉明, 竹内洋文 (分担執筆):  
[微粒子・粉体の最先端技術 (シーエムシー), pp. 164-173. (2000)]

- (8) 木方 正 (分担執筆) :  
[医薬品トキシコロジー 改訂第2版 (南江堂), pp. 68-72 (2000)]
- (9) Koichi Aizawa, Takahiro Inakuma, and Tadashi Kiho (分担執筆) :  
[Hydrocolloids-Part 1 (Elsevier Science B. V.), pp. 145-150 (2000)]
- (10) 永井博弼 :  
[ストップ・ジ・アレルギー —もうアレルギーに苦しまない— (丸善出版) (2000)]
- (11) 田中宏幸, 永井博弼 :  
[別冊・医学の歩み サイトカインと疾患 (医歯薬出版), pp. 131-135 (2000)]
- (12) 平野和行, 足立哲夫 (分担執筆) :  
[実践医療薬学 (じほう), pp. 12-13 (2000)]
- (13) 矢野正生, 下村弘治, 前畑英介, 井上 穰, 鈴木晟時, 足立哲夫, 岡部栄逸朗 (分担執筆) :  
[磁気共鳴と医学 Vol. 11 (日本医学館), pp. 63-66 (2000)]
- (14) 足立哲夫, 原 宏和, Jian Wang, Xing Li Wang (分担執筆) :  
[磁気共鳴と医学 Vol. 11 (日本医学館), pp. 179-182 (2000)]
- (15) Tetsuo Adachi (分担執筆) :  
[Experimental Protocols for Reactive Oxygen and Nitrogen Species (Oxford University Press), pp. 96-100 (2000)]
- (16) 日野紹運 (分担執筆) :  
[癒しと救い (玉川大学出版部), pp. 116-134 (2000)]
- (17) 日野紹運 (分担執筆) :  
[加藤純章博士還暦記念論集 アビダルマ仏教とインド思想 (春秋社), pp. 531-542 (2000)]

## そ の 他

- (1) 片岡 貞 : カルコゲノーベイリスーヒルマン反応の開発.  
[文部省科学研究費補助金特定領域研究 (A) (2) 平成11年度研究成果報告書 (2000)]
- (2) 葛谷昌之 : 薬学教育のインフラ整備.  
[調剤と情報 (じほう社), 6, 8, 108-109 (2000)]
- (3) 葛谷昌之 : 薬草王国・岐阜.  
[岐阜新聞 "健康へのいざない" (2000)]
- (4) 葛谷昌之 : ロアルド・ホフマン教授特別講演抄録.  
[化学と薬学の教室 (廣川書店), 139, 12-17 (2000)]
- (5) 葛谷昌之 : プラズマ化学の医薬品への応用研究.  
[animus, 秋, 30-34 (2000)]
- (6) 宇野文二 : 岐阜県独自の健康剤の開発研究.  
[岐阜健康財団委託研究費研究成果報告書 (2000)]
- (7) 川島嘉明 : ミレニアム・プロジェクトと製剤機械技術.  
[製剤機械技術研究会誌, 9, 2-4 (2000)]
- (8) 竹内洋文 : 日本薬学会第120年会.  
[生命とくすり, 16(4), 9 (2000)]
- (9) 山本浩充 : 第16回製剤と粒子設計シンポジウム.  
[生命とくすり, 16(2), 11 (2000)]

- (10) 山本浩充：ペプチドの経粘膜投与を目指した生分解性微粒子製剤の設計に関する研究。  
[粉体工学会誌, 37, 466-468 (2000)]
- (11) 山本浩充, 竹内洋文, 川島嘉明：平成 11 年度「日本薬局方の試験法に関する研究」研究報告  
—吸入製剤試験法に関する研究—。  
[医薬品研究, 32, 17-22 (2000)]
- (12) 永瀬久光：「買ってはいけない」論争, 1/23：覚せい剤乱用の増加, 4/16：食中毒事件再発防止へ, 8/13：  
PCB問題, 12/10。  
[岐阜新聞 “サンデーコラム” (2000)]
- (13) 白石弘章, 勝又義直, 永井 淳, 久米俊行, 鎌滝哲也, 神谷武志, 原 明：日本人における 3 $\alpha$ -ヒドロ  
キシステロイド脱水素酵素の遺伝的多型性。  
[DNA 多型, 8, 75-78 (2000)]
- (14) 宇佐見則行：芳香族炭化水素の活性化とジヒドロジオール脱水素酵素。  
[薬物動態学, 15, 288-289 (2000)]
- (15) 永井博式：アレルギー性鼻炎に用いられる漢方処方—薬学的見地から—。  
[P&M Kampo, 5, 5-10 (2000)]
- (16) 田中宏幸, 永井博式：気管支喘息アレルギー物質の発見。  
[Medical Technology, 28, 855-856 (2000)]
- (17) 林 宏明：植物中の抗菌性物質と多剤排出ポンプ阻害剤の協力関係。  
[ファルマシア, 36, 883-884 (2000)]
- (18) 田中俊弘：冬虫夏草騒動。  
[漢方研究, 8, 297-298(2000)]
- (19) 田中俊弘, 北川宗正, 後藤尚夫：ボランティア活動における来園者増加への取り組み。  
[日本植物園協会誌, 34, 43-47(2000)]
- (20) 田中俊弘, 飯田守幸：セミタケの大量発生—岐阜薬科大学薬草園での状況—。  
[日本植物園協会誌, 34, 139-142(2000)]
- (21) 田中俊弘：西美濃の薬草。  
(1) 伊吹山薬草サミット [商工ニュース, (3), 7 (2000)]; (2) 伊吹山にはなぜ薬草が多いのか [商工ニュー  
ス, (4), 9 (2000)]; (3) 伊吹百草 [商工ニュース, (5), 8 (2000)]; (4) 美濃薬膳 [商工ニュース, (6), 8 (2000)];  
(5) 枝豆饅頭 [商工ニュース, (7), 9 (2000)]; (6) 薬草園の経済効果 [商工ニュース, (8), 9 (2000)]; (7) 薬草  
園の生涯学習効果 [商工ニュース, (11), 10 (2000)].
- (22) 田中俊弘：薬草アラカルト。  
ゲッケイジュ [華陽, (1), 61 (2000)]; コーヒー [華陽, (2), 61 (2000)]; ヒガンバナ [華陽, (3), 61 (2000)];  
サワアザミ [華陽, (4), 59 (2000)]; えだまめ [華陽, (5), 63 (2000)]; キクイモ [華陽, (6), 60 (2000)]; カタ  
クリ [華陽, (7), 61 (2000)]; トチバニンジン [華陽, (8), 59 (2000)]; ゲンチアナ [華陽, (9), 61 (2000)];  
ヒマワリ [華陽, (10), 59 (2000)]; マルバダイオウ [華陽, (11), 61 (2000)]; キャッサバ [華陽, (12), 61  
(2000)].
- (23) 西川秋佳, 古川文夫, 小出彰宏, 森 幸雄：喫煙関連発がんの制御機構と予防に関する研究  
—ラット MeIQx 誘発発がんに関与するタバコ煙の影響—。  
[平成 11 年度喫煙科学研究財団研究年報, 59-64 (2000)]
- (24) 小出彰宏：携帯電話の電磁波は発がんに関与するのか?。  
[ファルマシア, 36, 305-306 (2000)]

- (25) 高宮登美, 野島広巳, 吉本二三浩, 足立哲夫, 前畑英介, 矢野正生, 下村弘治: 血液透析患者の透析比でみたフリーラジカル関連物質の挙動.  
[腎とフリーラジカル 第5集, 123-127 (2000)]
- (26) 山田晴生, 三浦直人, 青木隆成, 田中芳徳, 楊朝隆, 佐久間正人, 宮井宏暢, 原努, 深津敦司, 普天間新生, 各務伸一, 山田裕一, 足立哲夫: Extracellular Superoxide Dismutase(EC-SOD)遺伝子変異が血液透析患者の予後に及ぼす影響.  
[腎とフリーラジカル 第5集, 131-133 (2000)]
- (27) 山田晴生, 三浦直人, 青木隆成, 田中芳徳, 楊朝隆, 佐久間正人, 原努, 宮井宏暢, 深津敦司, 普天間新生, 各務伸一, 山田裕一, 足立哲夫: 細胞外型 Superoxide Dismutase (EC-SOD)の遺伝的多型性.  
[腎とフリーラジカル 第5集, 134-136 (2000)]
- (28) 足立哲夫, 原宏和, 山田晴生, 普天間新生, 各務伸一: 尿中 extracellular-superoxide dismutase (EC-SOD) レベルと cAMP との関連性.  
[腎とフリーラジカル 第5集, 137-140 (2000)]
- (29) 山田晴生, 三浦直人, 青木隆成, 田中芳徳, 楊朝隆, 佐久間正人, 宮井宏暢, 原努, 深津敦司, 普天間新生, 山田裕一, 足立哲夫: Extracellular Superoxide Dismutase (EC-SOD)遺伝子変異が血液透析患者の予後に及ぼす影響.  
[腎臓, 22, 220-223 (2000)]
- (30) 三井規雅, 増田和浩, 足立哲夫, 松嶋一成, 千葉正道, 高橋修平, 西田俊朗, 大石勉, 岡崎実: 小児における血清中  $O_2^-$  (スーパーオキシド) 消去能の測定.  
[全国自治体病院協議会雑誌, 39, 58-61 (2000)]
- (31) 前畑英介, 寿賀敏光, 平資久, 矢野正生, 宮野由紀子, 松本知恵, 足達悦子, 下村弘治, 遠田栄一, 柴輝男, 山門実, 足立哲夫, 松森繁, 富田聡仁, 荒井信之: 全自動化学発光免疫測定装置ケミルミ ADVIA Centaur におけるインスリン測定試薬の検討. 規定操作での精度評価とインスリン抵抗性指数 (HOMA-R) レベル.  
[医学と薬学, 44, 1069-1079 (2000)]
- (32) 前畑英介, 矢野正生, 足達悦子, 中島千絵, 橋本陽子, 武田良江, 下村弘治, 柴輝男, 山門実, 畠山郁夫, 金城則之, 足立哲夫: 糖尿病性腎症の診断に有用な臨床検査.  
[生体試料分析, 23, 401-408 (2000)]
- (33) 足立哲夫: 内皮細胞結合型活性酸素消去酵素の生理的変動.  
[生命科学, 6, 1-6 (2000)]
- (34) 足立哲夫: 内皮細胞結合型活性酸素消去酵素を利用した腎疾患・増悪スクリーニング法の構築.  
[文部省科学研究費補助金基盤研究(C)(2)平成10-11年研究成果報告書 (2000)]
- (35) 足立哲夫: 活性酸素消去機構の恒常性の破綻に起因する病態の発症とその分子機構.  
[ぎふライフサイエンス, 平成11年度研究助成結果報告 13-14 (2000)]

編集委員

古川昭栄、森 裕志、西田弘之、  
竹内洋文、宇野文二、出屋敷喜宏

---

---

岐阜薬科大学紀要 第50号  
(非売品)

印刷日 平成13年6月30日  
発行日 平成13年6月30日  
発行所 岐阜薬科大学  
〒502-8585 岐阜市三田洞東5丁目6-1  
編集者 古川昭栄  
発行者 岐阜市三田洞東5丁目6-1  
岐阜薬科大学内  
印刷 日新印刷株式会社  
岐阜市蔵前2丁目-3

---

---